

△第一三回V句会

半夏生・心太・夕立・水中り・団扇

村上谿聲 選 ◎特選 ◇佳作 (囲い文字は特選互選句 E x, ㊤)

◎夏座敷敷居の上に猫眠る

※猫^{ネコ}犬は、家の中の涼しい所や暖かい場所を、本当によく知っている。

◎半夏生竹馬の友と雑魚寝して

◎絵団扇や八尾の風を胸裡まで

◎尻つば切り箸を逃げけり心太

※原句：…尻つば切り箸を逃げたり心太

◎結願のお礼参りや心太

◇夕立に広重生野思ひけり

◇鰻屋の味を引き出す団扇かな

◇朝市に匂を拾ひつ半夏生

◇水中り旅寝の枕離れ得ず

◇団扇止め長考に入る勝負どこ

◇どくだみや一輪挿しの花明かり

◇戦ひは団扇で挑む甲子園

◇原爆忌妖しく点る骨の影

◇雲淡し羽後の車窓に合歓の花

◇坊守の茶菓のもてなし夕立晴

◇夾竹桃雲の輪郭確かなり

◇夕立に軒先借りて傘借りぬ

◇何事もなく暮れにけり心太

□洗濯を干して見上ぐる夕立雲

□溪流の光に映えるヤマベかな

□夕立に浴衣の裾をたくしあげ

〈互選高点句・特選句より〉

五点 戦さある世を忘れゐて合歓の花

四点 退院のすぐ転た寝の半夏生

三点 鰻屋の味を引き出す団扇かな

二点 団扇手に踊りの輪に入るわらべたち

雨垂れのリズム早まる半夏生

坊守の茶菓のもてなし夕立晴

心太すする口元愛らしい

夾竹桃雲の輪郭確かなり

老夫婦語らひつきて心太

庭先は進化の途中半夏生

何事もなく暮れにけり心太

戦ひは団扇で挑む甲子園

夕立に浴衣の裾をたくしあげ

団扇止め長考に入る勝負どこ

◎夏座敷敷居の上に猫眠る

◎半夏生竹馬の友と雑魚寝して

◎絵団扇や八尾の風を胸裡まで

◎尻つば切り箸を逃げけり心太

※原句：…尻つば切り箸を逃げたり心太

◎結願のお礼参りや心太

◇夕立に広重生野思ひけり

◇鰻屋の味を引き出す団扇かな

◇朝市に匂を拾ひつ半夏生

◇水中り旅寝の枕離れ得ず

◇団扇止め長考に入る勝負どこ

◇どくだみや一輪挿しの花明かり

◇戦ひは団扇で挑む甲子園

◇原爆忌妖しく点る骨の影

◇雲淡し羽後の車窓に合歓の花

◇坊守の茶菓のもてなし夕立晴

◇夾竹桃雲の輪郭確かなり

◇夕立に軒先借りて傘借りぬ

◇何事もなく暮れにけり心太

□洗濯を干して見上ぐる夕立雲

□溪流の光に映えるヤマベかな

□夕立に浴衣の裾をたくしあげ

〈互選高点句・特選句より〉

五点 戦さある世を忘れゐて合歓の花

四点 退院のすぐ転た寝の半夏生

三点 鰻屋の味を引き出す団扇かな

二点 団扇手に踊りの輪に入るわらべたち

雨垂れのリズム早まる半夏生

坊守の茶菓のもてなし夕立晴

心太すする口元愛らしい

夾竹桃雲の輪郭確かなり

老夫婦語らひつきて心太

庭先は進化の途中半夏生

何事もなく暮れにけり心太

戦ひは団扇で挑む甲子園

夕立に浴衣の裾をたくしあげ

団扇止め長考に入る勝負どこ

如 雨

弁 慶

隆 一

如 雨

蓮 田 池

弁 慶

弁 慶

蓮 田 池

蓮 田 池

蓮 田 池

貞 風

貞 風

貞 風

如 雨

隆 一

如 雨

仲 安

修 人

興 山

啓 吾

三 圃

谿 聲

谿 聲

弁 慶

仲 安

修 人

隆 一

三 圃

如 雨

仲 安

貞 風

修 人

貞 風

三 圃

蓮 田 池